

平成27年度 公共事業事後評価調査

1. 事業説明シート(1)

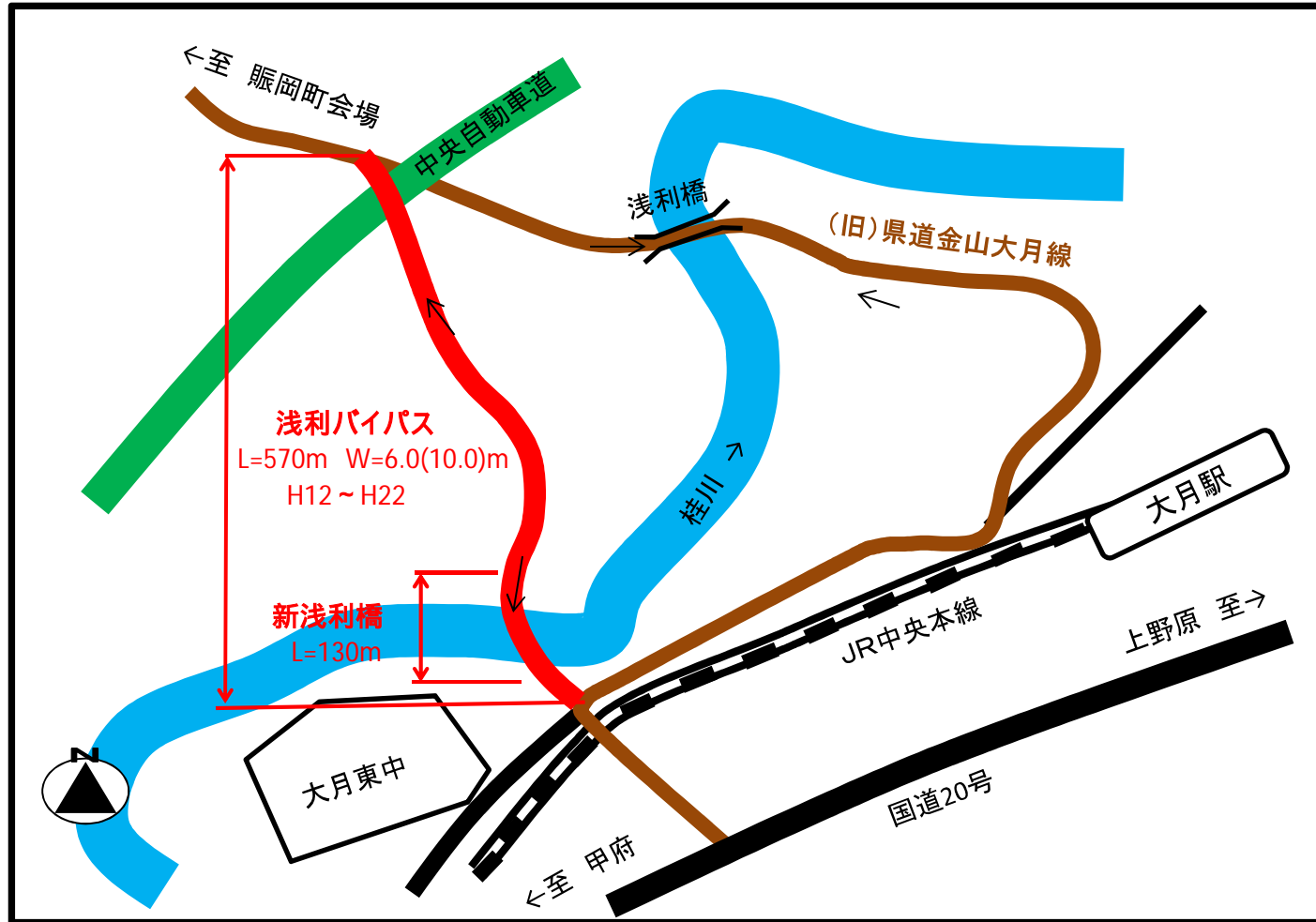
(区分) 国補・県単

事業名		道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補・県単)]		事業箇所	大月市賑岡町浅利		地区名	(一) 金山大月線 (浅利バイパス)		事業主体	山 梨 県				
(1)事業着手年度		H12年度		(2)事業期間		H12年度～H22年度		(3)完了後経過年数		5年		(4)総事業費		1,310百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景								(8)事業位置図等							
<p>一般県道金山大月線は、大月市賑岡町会場を起点とし、大月市大月二丁目に至る延長約3.7 kmの幹線道路であり、奥山集落から大月市中心部を結ぶ唯一の道路である。現道には人家が密集しているうえ、車道幅員が狭く、すれ違いが困難な状況であった。また、相模川に架かる浅利川橋は、14t規制の老朽橋であり、幅員も狭く交通の隘路となっていたため、これを解消するべくバイパス整備をすることとした。</p>															
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果															
<p>(事前評価未実施) 主要目標 ・市町村中心都市・大規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p>副次目標 ・歩行者等の安全性の確保</p> <p>副次効果 ・アクセス機能の維持</p>															
(7)整備内容 (目標達成の方法)															
<p>バイパス整備 (車道の幅員確保、歩道設置、線形改良) L = 570m W = 6.0 (10.0) m</p> <p>道路延長1010m 570m 車道 : 3.7m (1車線) 6.0 (10.0) m (2車線) 歩道 : なし 2.5m (片側)</p>															

評価シート(2)

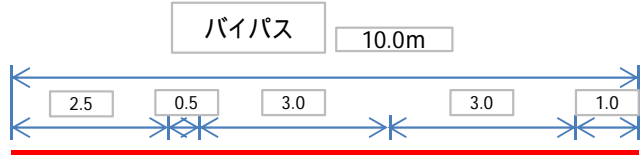
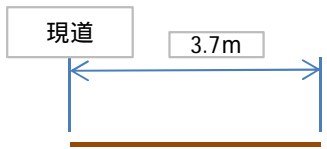
<p>(5)今後の事後評価の必要性 < 有・無 ></p>	<p>(7)同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 < 有・無 ></p>
<p>(理由) 評価シート(1)により、評価時点において通行車両の円滑な通行が確保され、中心地へのアクセス機能の向上が図られるとともに、歩行者の安全性が確保されたことから、所期の目標が達成されたため、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p>「有」の場合の実施時期及び方法 ・時期： 年度 ・方法：</p>	<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p>
<p>(6)本事業における改善措置の必要性 < 有・無 ></p>	<p>(8)事業評価手法の見直しの必要性 < 有・無 ></p>
<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p>	<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p>
<p>(既の実施した改善策の内容と効果) なし</p>	<p>(9)その他特筆すべき事項 < 有・無 > なし</p>

3. 添付資料シート(1)



凡例	
今回事業評価箇所	■
現道(旧道)	■

標準横断面図



供用状況



旧道の状況



供用状況



旧道の状況

